



「立春」を迎える、新たな気持ちで次の一步を

副校長 中村 章司

今年の2月4日は「立春」です。暦の上ではいよいよ春を迎える、少しづつ暖かさが増すとともに、木々の芽も膨らみ始めます。生き物たちも、本格的な春の訪れに向けて準備を始める時期です。

季節の変わり目には「立春・立夏・立秋・立冬」がありますが、その前日はすべて「節分」と呼ばれます。江戸時代以降は、一年の始まりとして特に尊ばれた「立春」の前日のみを指して、節分と呼ぶ習慣が定着したそうです。

豆まきなどの行事でおなじみの節分ですが、その日付は必ずしも2月3日に固定されているわけではありません。令和3年(2021)の節分が2月2日だったことは記憶に新しいでしょう。3日でなくなるのは1984年以来37年ぶり、2日になるのは1897年以来、実に124年ぶりの出来事でした。



なぜ立春の日付がずれるのかといえば、地球が太陽を一周する時間がきっちり365日ではないため、閏年(うるうどし)と同じように「ずれ」が生じるからです。二十四節気を運用する中でこの誤差を調整した結果、立春が前後し、それに伴って節分の日付も変わります。まだまだ先の話になりますが、2057年と2058年には、珍しく2年連続で2月2日が節分になるそうです。こうした暦の仕組みに目を向けてみると、身近な伝統行事の中にも、知る楽しさや新しい発見があることに気付かれます。

節分は、「鬼は外、福は内」という威勢のよい掛け声とともに災いを払い、福を呼び込むことを願う、日本が誇る大切な伝統行事です。子供たちにとっての「鬼」とは、苦手なことや、ついしてしまったくない行動、あるいは諦めてしまいそうな弱い心かもしれません。節分という機会を通じて、自分の心の中を見つめ直し、新しい気持ちで前に進もうとすることは、子供たちの成長につながる貴重な経験になると考えています。

学校生活においても、子供たちは友達との関わりや学習、さまざまな体験を通して、日々着実に成長しています。この時期は一年間の歩みを振り返り、自分ができるようになったことに自信を持つとともに、次の学年に向けて心と体の準備を進めていく大切な節目です。

寒暖差が激しく、感染症への注意も欠かせない季節が続きます。引き続き、手洗い・うがいの徹底や、十分な睡眠、適度な運動を心がけ、元気に学校生活を送ってほしいと願っています。

春は、歩みは遅くとも確実に近づいています。教職員一同、子供たち一人一人が安心して学校生活を送り、笑顔で次のステージへ進めるよう努めてまいります。今月も、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

« 2月の行事予定 »

2日 (月) 朝会 4時間授業(1・2・3)	18日 (水) 4時間授業(2年以外)
入学説明会	タヤケランド(13:00~15:30)
3日 (火) 安全指導 SC	19日 (木) 集会(集会委員会)
4日 (水) ステップアップクラス	20日 (金) クラブ活動⑪
タヤケランド(14:00~16:30)	23日 (月) 天皇誕生日
5日 (木) なわとび集会	24日 (火) 成木保育園との交流(1) SC
6日 (金) なわとび週間終	25日 (水) ステップアップクラス
委員会活動⑩	タヤケランド(14:00~16:30)
9日 (月) 朝会	26日 (木) 音楽集会(6年生を送る会練習)
10日 (火) 清潔検査 SC	Tokyo Global Gateway(6)
薬物乱用防止教室(6)	27日 (金) 家庭学習強化週間・読書週間 終
11日 (水) 建国記念の日	5時間授業(全校)
12日 (木) 集会(代表・ユニセフ)	学校公開⑤ 学校教育報告会
13日 (金) クラブ活動(3年クラブ見学)	保護者会
15日 (日) 青梅マラソン	タヤケランド(14:00~16:30)
16日 (月) 朝会	
家庭学習強化週間・読書週間 始	
17日 (火) 読み聞かせ SC	

※ SCはスクールカウンセラーの勤務日です



～ 成木小まつり ～

先日1月24日(土)に行われた「成木小まつり」には多くの保護者・地域の方にご来校いただき誠にありがとうございました。

各クラスが工夫を凝らしたお店はどれも大盛況で、児童の弾けるような笑顔が印象的でした。自分たちで計画・運営し、友達と協力してやり遂げた経験は、大きな自信につながったこと思います。今後も子供たちの主体性を育む活動を大切にしてまいります。

